

2026年度組織学会研究発表大会（関西学院大学）プログラム

6月20日(土) 大会・1日目 会場建物：B号館

	A会場 (2階・B-201)	B会場 (2階・B-202)	C会場 (2階・B-203)	D会場 (2階・B-204)	E会場 (3階・B-304)	F会場 (3階・B-302)
【大学院生セッション1】						
司会	日野健太 (駒澤大学)	佐藤 秀典 (筑波大学)	田路則子 (法政大学)	近能 善範 (法政大学)	松本陽一 (慶應義塾大学)	山下勝 (青山学院大学)
10:00-10:25	1 【A1】 心理的資本によるウェルビーイング促進に関する実証研究-組織的支援・オーセンティクリーダーシップ・伴走型支援の統合モデル- *堂西晴香 (神戸大学大学院)	【B1】 CSR認知が不正行為の動機づけ・許容傾向に及ぼす影響-モラル・ライセンシングの媒介効果の検討- *山田智 (東京都立大学大学院)	【C1】 大学発スタートアップの構想段階におけるフレミングと動員-制度的要素を用いた調整メカニズムの事例分析- *辻村千尋 (京都大学大学院)	【D1】 企業間紐帯における暗黙知の移転メカニズム-グローバル航空機産業における移籍発明者の実証分析- *本田卓也 (筑波大学大学院)	【E1】 マネジメント・ファッションの視点からのオープン・イノベーションの議論-OIの流行と普及は、連携の量及び質的成果に関係するか？- *宇都宮沙織 (早稲田大学大学院)	【F1】 大企業は探索から生まれる証拠をいかに投資判断可能にするのか-企業内新規事業におけるシグナル翻訳アーキテクチャと企業内正当性- *高橋寛 (一橋大学大学院)
10:25-10:50	2 【A2】 ファミリー企業の事業承継における先代経営者の隠微的関与-退出後の貢献類型とその心理的・基盤的要因に関する事例研究- *迫田裕紀 (神戸大学大学院)	【B2】 労働基準法違反の公表と企業価値-市場反応と中長期的パフォーマンスの分析- *松本智広 (東京都立大学大学院)	【C2】 ディープテック・スタートアップにおける組織能力の質的・累積的進化-マクロレベル化学における制度的複雑性の解消と資源組み替えの動態- *林宗弘 (一橋大学大学院)	【D2】 未利用資源活用によるサステナビリティ志向のイノベーション創出のプロセス-廃棄物と食品副産物を活用した新製品化の事例比較- *鈴木弘 (東京大学大学院)	【E2】 デジタル製品開発における経験的両利き-Transactive Memory Systemの逆U字型効果に対する重量級プロダクトマネージャーと技術ダイナミズムの調整効果- *山本将也 (筑波大学大学院)	【F2】 日本のStrategy as Practice(SaP)の探求-戦略論研究の新たな発展に向けて- *高橋泰 (大阪公立大学大学院)
10:50-11:00	休憩 (10分)					
11:00-11:25	3 【A3】 部下の職務行動に関する管理職のマインドセットと部下への関与-ビネット実験と質問紙調査を用いた検討- *岩本基徳 (東洋大学大学院)	【B3】 外生的ショックが企業行動に与える影響-中国の医薬物輸入規制を用いた実証分析- *藤原高次 (慶應義塾大学大学院)	【C3】 京都の老舗企業における商業メカニズムの実証研究 *松岡正 (龍谷大学大学院)	【D3】 超企業における探索ユニットの生存戦略-外部の解と社内の潜在課題のマッチングに着目して- *河野永貴 (愛知学院大学大学院)	【E3】 ジューセリング意欲を生み出す認知・価値・感情要因の統合的実証研究-主体的動機づけの観点からの再検討- *前田誠一郎 (筑波大学大学院)	【F3】 アウトソーシングの拡大と組織能力の空洞化-行政組織を事例とした吸収能力・組織的記憶の理論的境界条件の検討- *吉井弘和 (慶應義塾大学大学院)
11:25-11:50	4 【A4】 ダイナミック・ケイパビリティとビジネスモデルイノベーション-レゾナック・ホールディングス(4004)のケース- *穴井宏和 (立命館大学)	【B4】 経営者をめぐる印象管理戦略の模倣的同一化-トップメッセージにおけるビジョン提示の実証研究- *藤澤優 (株式会社デンソー)・佐藤秀典 (筑波大学)	【C4】 CVC投資における探索距離のマネジメント-探索戦略の違いが生ずる成果と与える影響- *上田彬正 (慶應義塾大学大学院)	【D4】 他市場への技術転用の成功に対する既存製品への技術統合の調整効果に関するメタ分析 *小松弘希 (東京科学大学大学院)	【E4】 特定顧客依存からの離脱と能力蓄積プロセス-日立・水戸地域の下請企業の事例に着目して- *清山毅 (一橋大学大学院)	
11:50-13:05	昼休憩 (75分)					
【研究発表セッション1】						
司会	安藤史江 (南山大学)	高田直樹 (一橋大学)	阿部智和 (北海道大学)	渡邊万里子 (東京理科大学)	山田仁一郎 (京都大学)	目代武史 (九州大学)
13:05-13:45	5 【A5】 ダイナミック・ケイパビリティとビジネスモデルイノベーション-レゾナック・ホールディングス(4004)のケース- *穴井宏和 (立命館大学)	【B5】 経営者をめぐる印象管理戦略の模倣的同一化-トップメッセージにおけるビジョン提示の実証研究- *藤澤優 (株式会社デンソー)・佐藤秀典 (筑波大学)	【C5】 オープン・イノベーション戦略の実行における価値評価-自然言語処理による探索と深化の定量分析- *内田彬浩 (立教大学)	【D5】 負の要素を肯定的評価に転換する企業ストーリーに関する研究-歴史的ゲームタイトルからの示唆- *井上祐樹 (東京科学大学)	【E5】 組織形成における信頼のクロスレベル循環-遠州鉄道における組織実践と部署横断的協働- *中川晃 (静岡文化芸術大学)	【F5】 経営者が繰る不協和なメタファー-松下幸之助が用いた言語の引き出しと変遷- *舟津昌平 (東京大学)・中本龍市 (大阪公立大学)
13:45-14:25	6 【A6】 地域的知識創造はいかに循環型ビジネスモデルを進化させるのか-馬路村ゆずビジネスの長期断続的事例研究- *桂信太郎 (高知工科大学)・廣瀬文乃 (立教大学)	【B6】 流行しているのは実践かそれともラベルか？-マネジメントファッション現象に着目したイベントスタディ分析- *高橋宏和 (東京都立大学大学院)・木川大輔 (法政大学)	【C6】 AI協働における再帰的実践の変容-文献レビューを題材とした閉回路のメカニズム分析- *今井悠貴 (グロース経営大学院)・中国宏幸 (関西大学)	【D6】 小規模自営業者における顧客との翻訳・適応・学習を通じた顧客共鳴の生成 *竹居裕彦 (東京科学大学)・小松弘希 (東京科学大学)・井上祐樹 (東京科学大学)	【E6】 中小企業の第二創業における創造と規範のメカニズム *武文芸 (大阪公立大学)	【F6】 部品調達取引と垂直的系列関係-日本の自動車産業における既存・新規部品取引構造の長期パネルデータ分析(既存部品対新規部品)- *武石彰 (学習院大学)・中本龍市 (大阪公立大学)
14:25-14:35	休憩 (10分)					
14:35-15:15	7 【A7】 ライン管理者間での相互の影響に基づく人的資源管理の運用 *森谷周 (関西学院大学)	【B7】 移動通信産業における制度的条件とエコシステム影響力の形成-6Gを見据えた3層影響経路モデルによる国際比較- *柳京政 (一橋大学)	【C7】 戦略的持続性がいノベーションの質に与える影響-環境ダイナミズムの調整効果- *馬端潔 (東京都立産業技術大学院大学)	【D7】 創造的行動の動態-不確実性における創造性の多起源的枠組み- *澤谷由里子 (NUCB Business School)	【E7】 起業家教育における相互作用プロセスのシミュレーション-生成エージェンツによる理論的実験案の提案- *秋庭太 (龍谷大学)	【F7】 中間サプライヤにおける新産案材の普及と阻害と受容のメカニズム *岸本武亮 (日清紡ケミカル株式会社)・内海京久 (高知工科大学)
15:15-15:55	8 【A8】 企業の国際化が国内の非市場戦略に与える影響 *石野岡達也 (日本自動車工業会)	【B8】 地域創生をめざすeスポーツ推進組織の考察-ハイブリッド組織を対象とした比較検討- *四方邦宗 (神戸大学)	【C8】 産業クラスターとコミュニティキャピタル-今治海事クラスター-解明のために- *西岡久雄 (松山大学)	【D8】 実践を通じて生成・再構成されるバーパス-井上ファイナリー株式会社の事例研究- *石谷康人 (周南公立大学)	【E8】 起業家教育とエフェクティブエージェンツ-先例ある製品と先例ない製品の比較- *田路則子 (法政大学)	【F8】 技術パラダイム転換を乗り越える両利き経営-富士フィルムとコニカの事例研究- *内海京久 (高知工科大学)
15:55-16:05	休憩 (10分)					
16:05-17:05	総会 (60分) : G会場 (1階・B101)					
17:05-18:05	研究交流セッション (60分) : H会場 (1階・B104)					

2026年度組織学会研究発表大会（関西学院大学）プログラム

6月21日(日) 大会・2日目 会場建物：B号館

	A会場 (2階・B-201)	B会場 (2階・B-202)	C会場 (2階・B-203)	D会場 (2階・B-204)	E会場 (3階・B-304)	F会場 (3階・B-302)
【研究発表セッション2】						
司会	村瀬俊郎 (早稲田大学)	藤井橋人 (桃山学院大学)	横山恵子 (関西大学)	西野和美 (一橋大学)	船越多枝 (大阪経済大学)	高井文子 (横浜国立大学)
09:30-10:10	<p>[A9] 従業員と組織の関係性に関する探案的検討 - 組織への帰属意識と個人のキャリア意識に着目して -</p> <p>* 野津創太 (日本大学)</p>	<p>[B9] PMIにおける自律性が被買収企業の従業員との離職意思に与える影響</p> <p>* 司馬軒 (京都大学)</p>	<p>[C9] イントラブレナーへの転換点 - 航空会社によるLCC制出の事例研究 -</p> <p>* 新藤晴臣 (中央大学) ・ 和田雅子 (中央大学)</p>	<p>[D9] 道長の再設計による制度ロジック開発の調整メカニズム - 宇治園製茶の海外カフェ展開の事例 -</p> <p>* 室川幸子 (獨協大学) ・ 押久保政彦 (日本経済大学)</p>	<p>[E9] パラドキシカル・リーダーシップの認知的・情動的基盤 - 統合的複雑性と認知的再評価の相互作用と社会的支援の調整効果 -</p> <p>* 謝所 (立教大学) ・ 成龍 (立教大学)</p>	<p>[F9] Local Procurement Autonomy as Enacted Practice in Multinational Corporations: A Multiple-Case Study of Japanese Subsidiaries</p> <p>* 播摩泰洋 (筑波大学大学院修了)</p>
10:10-10:50	<p>[A10] 「使えない上司」はどうかすれば許されるのか - 同僚理解と是正措置の効果 -</p> <p>* 犬塚篤 (名古屋大学)</p>	<p>[B10] キャリアショック研究の現状と課題 - 概念の明確化と尺度開発に向けて -</p> <p>* 北村雅昭 (大手前大学)</p>	<p>[C10] プロジェクト・チームの事業創造メカニズムへの組織上層の影響</p> <p>* 竹田陽子 (中央大学)</p>	<p>[D10] 新製品開発における探索の効果に関する考察</p> <p>* 黄鍾 (立命館大学)</p>	<p>[E10] 外国人材供給の観点からみた留学生の教育・就労移行 - ネパール人留学生の労働市場への組織的統合プロセス -</p> <p>* 氏家佐江子 (SBFコンサルティング合同会社)</p>	<p>[F10] How Knowledge Brokers Bridge Knowledge Boundaries: A Process Model of Knowledge Brokerage in Boundary-Crossing Teams</p> <p>* 松井孝憲 (法政大学大学院)</p>
休憩 (10分)						
11:00-11:40	<p>[A11] 博士課程経験者は組織の中でどのように自己を位置づけるのか - 非アカデミア移行後の職業的アイデンティティの相互行為的実践 -</p> <p>* 岡田菜弓 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)</p>	<p>[B11] 効率性の追求は業績を改善するか - DEAによる資源変換効率と業績の関係 -</p> <p>* 新井博子 (筑波大学) ・ 立本博文 (筑波大学)</p>	<p>[C11] 行政組織はいかに自己革新するのか - 翻訳の連鎖からみた制度形成過程 -</p> <p>* 金治宏 (京都光華女子大学) ・ 藤井大晃 (岡山大学)</p>	<p>[D11] コモディティ市場における製品のポジショニング戦略</p> <p>* 伊藤憲哉 (早稲田大学)</p>	<p>[E11] 事業変革期におけるリスキングの実態 - 二流路型人材形成 -</p> <p>* 長内厚 (早稲田大学) ・ 柿内秀賢 (パーソルインベション株式会社) ・ 清水さやか (パーソルインベション株式会社)</p>	<p>[F11] 実践理論が提唱するフラット・オンロジーとはいかなるものか</p> <p>* 廣田俊 (関西大学)</p>
11:40-12:20	<p>[A12] 可視化された特別扱いが職場秩序をどう再編するか? - 日本とベトナムにおける質的研究 -</p> <p>* 服部泰宏 (神戸大学)</p>	<p>[B12] 取締役会構成の多様性と企業価値への影響 - 女性取締役の二重チャネル効果: 社内取締役は業績を、社外取締役は市場評価を改善するか -</p> <p>* 石塚愛 (筑波大学) ・ 立本博文 (筑波大学)</p>	<p>[C12] 個人レベルの探索・深化がイノベーション業績に与える影響 - 漫画単行本データの実証研究 -</p> <p>* 中川摩利子 (上智大学)</p>	<p>[D12] 不確実性下におけるビジネスモデルの分岐と共進化 - HUAWEIの自動車事業における取引構造の移転 -</p> <p>* 坂井貴之 (早稲田大学) ・ 黄丁益 (RIZAPグループ株式会社)</p>	<p>[E12] 地方版DXにおけるアクセス設計 - 紙購読制度下の部分同型化 -</p> <p>* 八木さゆり (読売新聞) ・ 長内厚 (早稲田大学)</p>	<p>[F12] 辺境における偏狭 - 言語基軸適応化が生む自己疎離化とやがて惹き研究倫理 -</p> <p>* 岩尾俊兵 (慶應義塾大学)</p>
12:20-13:35	<p>昼休憩 (75分) ・ ランチョンセッション: H会場(1階・B104) 「共働きのリアル」 講演者: 眞 仁美 (立命館大学) 講演者: 貴島 耕平 (関西学院大学) 司会者: 清野 克洋 (関西学院大学)</p>					
【研究発表セッション3】						
司会	服部泰宏 (神戸大学)	三崎秀央 (関西大学)	伊藤智明 (横浜市立大学)	福本俊樹 (同志社大学)	神吉直人 (甲南大学)	中本龍市 (大阪公立大学)
13:35-14:15	<p>[A13] 日本の経営学アカデミアにおける「傍らで書くこと」による抵抗 - 差別的オートエスノグラフィ -</p> <p>* 柳淳也 (京都大学) ・ 崔麗超 (関西外国語大学) ・ 林部由香 (岡山商科大学) ・ Zhao Weijie (京都大学)</p>	<p>[B13] 集合的マインドに基づく非常事態における創造的対応</p> <p>* 水谷浩之 (明海大学)</p>	<p>[C13] 仕事の負担感が創造的行動に与える影響 - 援助要請と資源枯渇を含む調整媒介モデル -</p> <p>* 松下将章 (関西学院大学) ・ 藤井橋人 (桃山学院大学) ・ 土屋佑介 (埼玉大学) ・ 辺見英貴 (長崎大学)</p>	<p>[D13] マネジメント論の研究における量的探索による質的研究の乗取り</p> <p>* 蔡イン錫 (専修大学)</p>	<p>[E13] 探索: 活用研究における組織内知識構成 - 日本自動車産業の長期データによる実証分析 -</p> <p>* 工藤秀雄 (西南学院大学)</p>	<p>[F13] 中小企業PMIにおける変革停滞の構造的整理 - 三事例の比較分析を通じて -</p> <p>* 藤月深都留 (株式会社ミライエ・ホールディングス)</p>
14:15-14:55	<p>[A14] 逸脱を引き受けるミドルマネージャによる制度進化の翻訳実践</p> <p>* 宮下航 (パナソニックホールディングス株式会社) ・ 坂田裕美 (パナソニックホールディングス株式会社) ・ 澤谷由里子 (名古屋商科大学ビジネススクール)</p>	<p>[B14] 企業不正に対する事前のガバナンスと事後のガバナンス - 不正会計を防止する機能と検出する機能に関する定量的実証研究 -</p> <p>* 柴野良美 (京都産業大学)</p>	<p>[C14] ビジネス領域にも広がるアーティスト・コレクティブの創造性 - 6事例の比較分析によるポスト組織論的考察 -</p> <p>* 宮川尚 (武蔵野美術大学)</p>	<p>[D14] 行為の経営学的方法論的含意 - 知識のドームの空洞と方法論的寛容 -</p> <p>* 児玉公一郎 (日本大学)</p>	<p>[E14] 小売業界におけるビジネスモデルの組み合わせ - リーリングモデルは収益性と成長性向上に寄与するか -</p> <p>* 近藤祐太 (早稲田大学) ・ 四富拓実 (株式会社Relic)</p>	<p>[F14] CVCがスタートアップのIPO時価総額に及ぼす影響 - 日本におけるIPOまでの期間に着目して -</p> <p>* 吉田聖崇 (一橋大学)</p>
14:55-15:05	休憩 (10分)					
15:05-15:45	<p>[A15] 企業アルムナイにおける退職者価値の差異とその要因 - 企業公式アルムナイの比較分析 -</p> <p>* 高橋龍征 (中央大学)</p>	<p>[B15] 新たな調整メカニズムとしてのシェアード・カップリング</p> <p>* 原田勉 (神戸大学)</p>	<p>[C15] 参加型組織での技術受容態度の多様性と管理職の境界管理実践 - AI・データサイエンス導入における発達の分化のメカニズム -</p> <p>* 中井秀樹 (株式会社村田製作所)</p>	<p>[D15] 組織研究における時間・認知資源の導入 - 二重過程理論の適用によるDual Garbage Can Modelの構築 -</p> <p>* 熊田智徳 (徳衛大学校) ・ 鶴山優佳 (陸上自衛隊)</p>	<p>[E15] AIプラットフォーム企業による統合包囲の動的メカニズム - 包囲攻勢度内生化モデルのシナリオ分析 -</p> <p>* 木村誠 (新潟国際情報大学)</p>	<p>[F15] 海外子会社の環境経営に対する日本本社の影響要因 - 欧州日系製造業のクロスセクショナル・データを用いて -</p> <p>* 木金晃 (明治大学) ・ 板倉宏昭 (東京都立産業技術大学院大学)</p>